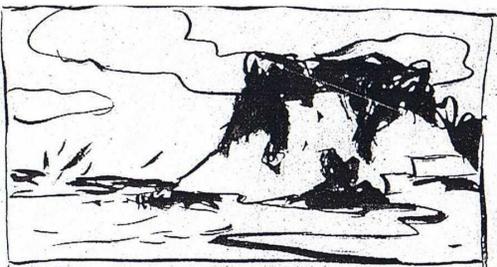


房州富崎村字布良 小谷喜六方 青木生
福岡県八女郡三河村字緒玉 梅野満雄様

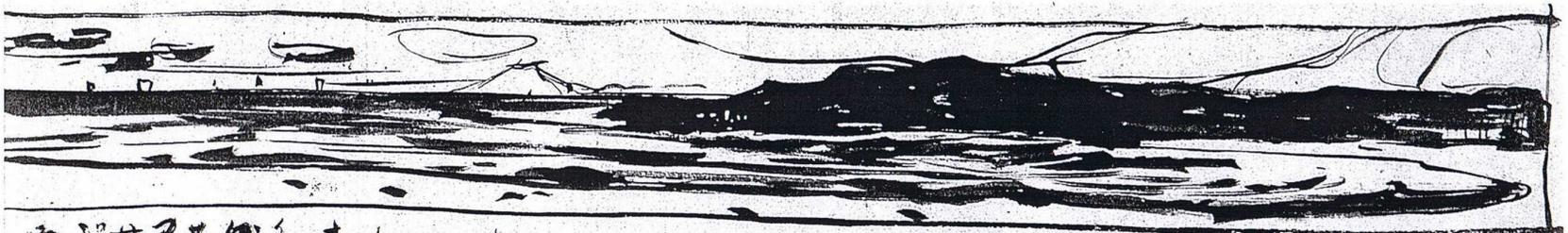


てなにかをいふは、
モ一は、
この残暑には、
僕等は、
僕等は、
定めて君は、
あらうが、
だ、
いふがある、
天豊美命を、
何しろ沖は、
激しい崎で、
人間の歴史、
居たに、
漁場として、
冬になると、
黒潮の流れ、
二月も沖に、
漁する、
西の方の、
相の浜とい、
詩的な名、
其次八平、
其次八伊、
こゝは、
遥かに、
扼（ヤク）、
直ぐ、
好い、

てなにかをいふは、
モ一は、
この残暑には、
僕等は、
僕等は、
定めて君は、
あらうが、
だ、
いふがある、
天豊美命を、
何しろ沖は、
激しい崎で、
人間の歴史、
居たに、
漁場として、
冬になると、
黒潮の流れ、
二月も沖に、
漁する、
西の方の、
相の浜とい、
詩的な名、
其次八平、
其次八伊、
こゝは、
遥かに、
扼（ヤク）、
直ぐ、
好い、

「其後八御無沙汰失礼候

モ一此処に来て一ヶ月余になる、
この残暑に健康はどうか？
僕は海水浴で黒んぼーだよ、
定めて君は知つて居られるで
あらうがこゝは万葉にある「女良」
だ、すぐ近所に安房神社と
いふがある、官幣大社で、
天豊美命をまつたものだ、
何しろ沖は黒潮の流を受けた
激しい崎で上古に伝はらない
人間の歴史の破片が埋められて
居たに相違ない、
漁場として有名な荒つぽい処だ、
冬になると四十里も五十里も
黒潮の流れを切つて
二月も沖に暮らして
漁するそうだよ、
西の方の浜伝ひの隣りに
相の浜といふ処がある、
詩的な名でないか、
其次八平沙浦（ヘイザウラ）
其次八伊藤の八ナ、其次八洲の崎で
こゝは相州の三浦半島と
遥かに対して東京湾の口を
扼（ヤク）して居るのだ、
上図はアイドといふ処で
直ぐ近所だ、
好い処で僕等の海水浴場だよ、



上図が平沙浦、
 先きに見ゆるのが洲の崎だ、
 富士も見ゆる、
 雲ポツツリ、
 又ポツツリ、ポツツリ！
 波ピッチャリ、
 又ピッチャリ、ピッチャリ！
 砂チリチリとやけて
 風ムシムシとあつく
 なぎたる空！
 はやりたる潮！
 童謡
 「ひまにや来て見よ、
 平沙の浦わアー
 西は洲の崎、
 東は布良アよ、
 沖を流るゝ
 黒瀬川アー
 サアサ、
 ドンブラコツコ、
 スツコツコ！」
 この頃のどのかな平沙浦だよ、
 浦だよ、海地よは瓜、
 西は洲の崎、
 東は布良アよ、
 沖を流るゝ
 黒瀬川アー
 サアサ、
 ドンブラコツコ、
 スツコツコ！
 先きに見ゆるのが洲の崎だ、
 富士も見ゆる、
 雲ポツツリ、
 又ポツツリ、ポツツリ！
 波ピッチャリ、
 又ピッチャリ、ピッチャリ！
 砂チリチリとやけて
 風ムシムシとあつく
 なぎたる空！
 はやりたる潮！
 童謡
 「ひまにや来て見よ、
 平沙の浦わアー
 西は洲の崎、
 東は布良アよ、
 沖を流るゝ
 黒瀬川アー
 サアサ、
 ドンブラコツコ、
 スツコツコ！」
 この頃のどのかな平沙浦だよ、
 浦だよ、海地よは瓜、
 西は洲の崎、
 東は布良アよ、
 沖を流るゝ
 黒瀬川アー
 サアサ、
 ドンブラコツコ、
 スツコツコ！

上図が平沙浦、
 先きに見ゆるのが洲の崎だ、
 富士も見ゆる、
 雲ポツツリ、
 又ポツツリ、ポツツリ！
 波ピッチャリ、
 又ピッチャリ、ピッチャリ！
 砂チリチリとやけて
 風ムシムシとあつく
 なぎたる空！
 はやりたる潮！
 童謡
 「ひまにや来て見よ、
 平沙の浦わアー
 西は洲の崎、
 東は布良アよ、
 沖を流るゝ
 黒瀬川アー
 サアサ、
 ドンブラコツコ、
 スツコツコ！」
 これが波のどかな平沙浦だよ、
 浜地には瓜、西瓜杯が
 よく出来るよ、
 蛤も水の中から採れるよ、
 晴れると大島利島
 シキネ島等が列をそろえて
 沖を十里にかすんで見える、
 其波間を漁船が
 見えかくれする、面白いこと、



まのあたりに東
 が根や、白浜
 沖をあらだ、白
 旗の三三三の
 向だ、わらわ
 うはたもむら
 沖では
 クチラ、
 ヒラウラ、
 カジキ「ハイホのこと」、
 マグロ、フカ、
 キワダ、サメ、
 がとれる、皆二十貫から
 百貫目位のもので釣るのだ、
 恐しい様な荒つぽい事だ、
 灘では、
 トビ魚（ヤゴ）、
 カツオ、タイ、
 アチ、ヒラメ、
 サバ、
 杯だ、
 それから岸近くでは、
 小アチ、
 タカベ、
 クロダイ、
 カレイ、
 ポラ、
 杯だ、磯辺では
 タコ（大いよ）、
 イセエビ、
 メチダイ、
 メジナ、
 杯だよ、

のて釣るのだ、
 まのあたりに
 灘では、
 トビ魚（ヤゴ）、
 カツオ、タイ、
 アチ、ヒラメ、
 サバ、
 杯だ、
 それから岸近くでは、
 小アチ、
 タカベ、
 クロダイ、
 カレイ、
 ポラ、
 杯だ、磯辺では
 タコ（大いよ）、
 イセエビ、
 メチダイ、
 メジナ、
 杯だよ、

夫れから東が根本、白浜、
 野島だ、僅かに三里の間、
 野島崎には燈台がある、
 沖では
 クチラ、
 ヒラウラ、
 カジキ「ハイホのこと」、
 マグロ、フカ、
 キワダ、サメ、
 がとれる、皆二十貫から
 百貫目位のもので釣るのだ、
 恐しい様な荒つぽい事だ、
 灘では、
 トビ魚（ヤゴ）、
 カツオ、タイ、
 アチ、ヒラメ、
 サバ、
 杯だ、
 それから岸近くでは、
 小アチ、
 タカベ、
 クロダイ、
 カレイ、
 ポラ、
 杯だ、磯辺では
 タコ（大いよ）、
 イセエビ、
 メチダイ、
 メジナ、
 杯だよ、

まねから漢字で



モクツ、
モク、
アラメ、
ワカメ、
ミル、
トサカメ、
テングサ、
メリグサ、
アワビ、
ハマグリ、
タマガヒ、
トコボシ、
ウニ、
イソギンチャク、
ホラノカヒ、
サ、エ、
アカニシ、
ツメツケイ（ツメガヒ）
杯だ、
またまだ其外に名も知らぬものが
倍も三倍もある、また種族が
同じで殊類なものもあるのだ、
今は少々製作中だ、大きい、
モデルを沢山つかって居る、
いづれ東京に帰へつてから
御覧に入れる迄は黙して居よう。

夫れから浜磯では、
モクツ、
モク、
アラメ、
ワカメ、
ミル、
トサカメ、
テングサ、
メリグサ、
アワビ、
ハマグリ、
タマガヒ、
トコボシ、
ウニ、
イソギンチャク、
ホラノカヒ、
サ、エ、
アカニシ、
ツメツケイ（ツメガヒ）
杯だ、
またまだ其外に名も知らぬものが
倍も三倍もある、また種族が
同じで殊類なものもあるのだ、
今は少々製作中だ、大きい、
モデルを沢山つかって居る、
いづれ東京に帰へつてから
御覧に入れる迄は黙して居よう。

八月二十二日 繁
満雄兄

引用にあたっては、原則として漢字は当用漢字に改め、
かなづかいは原文のまま、また一部行替えをなおした。